

愛知県震度観測・調査報告書－第 3 2 報－の概要

1 調査の概要と目的

この調査は、地震動の伝わり方や地域特性を明らかにするため、県内全市町村に設置している計測震度計による震度情報ネットワークの震度観測データ等を活用して、平成 24 年 1 月～12 月に発生した地震と震度に関する情報をまとめるもので、防災対策の基礎資料、県民の地震に対する理解を深めるために活用されることを目的として報告書を作成している。昭和 56 年より 1 冊／年で発行しており、本書で 32 冊目となる。トピックスとして、GPS による地殻変動の観測とその活用についての解説、日本とその周辺の地形の解説及び「科学的に想定しうる最大クラス」の考え方についての考察を掲載した。

2 愛知県震度観測・調査報告書－第 3 2 報－の概要

(1) トピックス

ア GEONET が明らかにする地殻変動

全国に張り巡らされた GPS 観測網による地殻変動の観測について解説し、地震発生メカニズム解明などへの活用について述べている。

イ 日本の地形

日本に地震が頻発する理由について、日本とその周辺の地形を示し、その成因を解説することで説明している。

ウ 「最大クラス」の地震

「科学的に想定しうる最大クラス」の考え方について、地震の発生頻度の観点などから解説し、経験した地震にもとづく従来の想定と最大クラスの想定を受け止め方について考察している。

(2) 震度観測資料

ア 愛知県における地震

平成 24 年に、県内のいずれかの市町村で震度 1 以上が観測された地震の発生は 36 回であり、震度 4 以上が観測された地震の発生はなかった。

イ 国内の主要な地震

平成 24 年に、国内で、被害を伴った地震の発生は 10 回であった。

ウ 世界の地震

平成 24 年に、世界で人的被害を伴った地震の発生は 36 回であり、死者 50 名以上の地震の発生は 4 回あった。

3 調査研究成果の活用

調査報告書は、防災会議に報告するとともに、防災関係機関、市町村に配付し、地震防災対策の基礎資料として活用する。

また、県民が自由に閲覧できるように公立図書館、県民生活プラザ等に配付し、地震についての理解を深めてもらう。